

事 案 調 書 (決 定 会 議)

審議日 令和7 年 5 月 15 日

案 件 名		旧相模原総合高等学校跡地の活用について									
所 管	財政	局 区	財政	部	アセットマネジメント推進	課 担当者		内線			
	教育		教育環境		学校給食						
	健康福祉		保健衛生		衛生研究所						

事案概要

・旧相模原総合高等学校の跡地(約4.5ha)については、先行して約1haを「(仮称)北部学校給食センター用地」として神奈川県から取得した。

・神奈川県による校舎等の解体後に取得する残る約3.5haについて、跡地活用方針を策定することとした。(R7.1未利用資産活用・調整会議)

・土地の大半を「①:将来の公用・公共利用予定エリア」、残る土地を「②:公共施設早期整備検討エリア」と位置付け、令和6年度に地域に対して、①:庁内検討を進めていく ②:R7年度より具体的事業について地域対話を行っていく 旨説明済である。

・一方で、衛生研究所再整備基本構想の策定検討が進んでおり、構想において「可能な限り早期に、再整備が可能な公共用地であることを優先とした候補地の一つ」として旧相模原総合高等学校の跡地が位置付けられる予定である。

審議事項	<p>「公共施設早期整備検討エリア」を</p> <p>・衛生研究所再整備候補地の一つとして位置付けること</p> <p>・衛生研究所の整備用地として決定した後は、跡地活用方針の対象外とすること</p>									
審議結果 (政策課記入)	○原案を一部修正し、上部会議に付議する。									

事業効果 総合計画との関連	事業効果	喫緊の課題である衛生研究所再整備について事業の進捗が促される。								
	効果測定指標							施策番号		
	年度	R7	R8	R9						
	事業効果 年度目標									

事業スケジュール / 事業経費・財源 / 必要人工

○事業スケジュール

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
実施 内容	庁内 調整						
	「公共施設早期整備 検討エリア」について 市民対話						
	「将来の公用・公共利用予定エリア」の 「跡地活用方針」策定に向けた 庁内調整及び市民対話						

○事業経費・財源

(千円)

項目	補助率/充当率	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
事業費(費)								
うち任意分								
特財								
国、県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		0	0	0	0	0	0	0
うち任意分								
捻出する財源※2								
一般財源拠出見込額		0	0	0	0	0	0	0
元利償還金(交付税措置分を除く)								
捻出する財源概要								
税源涵養 (事業の税収効果)								

○必要人工(事業実施に当たり、新たな人員配置を求める場合のみ記入)

(人工)

項目		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
実施に係る人工	A							
局内で捻出する人工※	B							
必要な人工	C=A-B	0	0	0	0	0	0	0
局内で捻出する人工概要								

SDGs
関連ゴールに○



日程等
調整事項

条例等の調整			議会提案時期			報道への情報提供	
パブリックコメント			時期			議会への情報提供	

事前調整、検討経過等

調整部局名等	調整内容・結果
未利用資産活用・調整会議(部課長級)	審議事項について調整済(書面開催)
	主な関連所属: 学校給食課、衛生研究所、大沢まちづくりセンター

備 考

資料のカラーユニバーサルデザイン確認済み。

庁議におけるこれまでの議論		
(開催日)	R7.5.8	(庁議種類) 調整会議
(庁議結果)	原案のとおり上部会議に付議する。ただし、庁議の意見を踏まえ、資料を一部修正すること。	
【審議事項について】		
○(総務法制課長)公共施設早期整備検討エリアについて、衛生研究所再整備候補地として位置づけた場合、それ以外の利用希望は対象外にするという認識でよいか。		
→(アセットマネジメント推進課長)先日開催された未利用資産活用・調整会議において、もっとも検討が進んでいたのが衛生研究所の再整備である。他にも利用希望はあがっているが、検討の深度化が進んでいない状況である。そのため、他の利用希望については、将来の公用・公共利用予定エリアで取り扱っていく考えである。		
○(マーケティング課総括副主幹)衛生研究所再整備候補地として位置づけることは理解できるが、決定した後に跡地活用方針の対象外とすることが進め方として、他責的に見受けられる。今後、衛生研究所が地域と対話するのであれば、候補地として位置づけた時点で対象外とした方がわかりやすいのではないか。		
→(アセットマネジメント推進課長)令和7年2月に地域説明を行った際、公共施設早期整備検討エリアも含めて跡地活用方針について検討する旨を伝えている。ご意見のとおり、この時点で跡地活用方針の対象外とすることも考えたが、対象外とした後で衛生研究所が他の場所に決定した場合、このエリアが浮いた状態となり、地域等への説明もわかりづらくなる。そのため、今年度中に候補地が定まる見込みであることから、決定した後に対象外とする考えである。		
→(マーケティング課総括副主幹)学校給食センターのように、強い意志で事業を進めた方が良いと考え意見させていただいた。衛生研究所がこれからどのように地域説明を行っていくのか、姿勢にもよるものだと考える。		
→(アセットマネジメント推進課長)衛生研究所再整備基本構想(案)では、他の候補地も含め横並びとなっており、優劣があるわけではない。現時点で跡地活用方針の対象外とした場合、恣意的に選択したと捉われかねないと思う。		
【跡地活用方針の策定について】		
○(政策課長)説明資料4ページの跡地活用方針の策定について、「衛生研究所再整備用地として決定」と記載されているが、決定したように捉えられるため表現を修正いただきたい。		
→(アセットマネジメント推進課長)資料を修正する。		
【衛生研究所整備候補地から整備用地として決定した場合の進め方(イメージ)について】		
○(マーケティング課総括副主幹)説明資料5ページの衛生研究所整備候補地から整備用地として決定した場合の進め方(イメージ)について、「県から土地取得」が将来の公用・公共利用予定エリアのみに記載されているが、公共施設早期整備検討エリアにも記載が必要ではないか。		
→(アセットマネジメント推進課長)資料を修正する。		



R7.5.15 決定会議

旧相模原総合高等学校跡地の活用について

アセットマネジメント推進課
学校給食課
衛生研究所

1 事案概要

- 旧相模原総合高等学校の跡地(約4.5ha)については、先行して約1haを「(仮称)北部学校給食センター用地」として神奈川県から取得した。
- 神奈川県による校舎等の解体後に取得する残る約3.5haについて、跡地活用方針を策定することとした。(R7.1未利用資産活用・調整会議)
- 土地の大半を「①:将来の公用・公共利用予定エリア」、残る土地を「②:公共施設早期整備検討エリア」と位置付け、令和6年度に地域に対して、
 - ①:庁内検討を進めていく
 - ②:R7年度より具体的事業について地域対話を行っていく旨説明済である。
- 一方で、衛生研究所再整備基本構想の策定検討が進んでおり、構想において「可能な限り早期に、再整備が可能な公共用地であることを優先とした候補地の一つ」として旧相模原総合高等学校の跡地が位置付けられる予定である。



2 審議事項

衛生研究所の再整備が喫緊の課題であることに鑑み、早期再整備に向けた地域対話の機会を多く設けることができることから、

- 「**公共施設早期整備検討エリア**」を
 - ・ **衛生研究所再整備候補地の一つとして位置付けること**
 - ・ **衛生研究所の整備用地として決定した後は、跡地活用方針の対象外とすること**

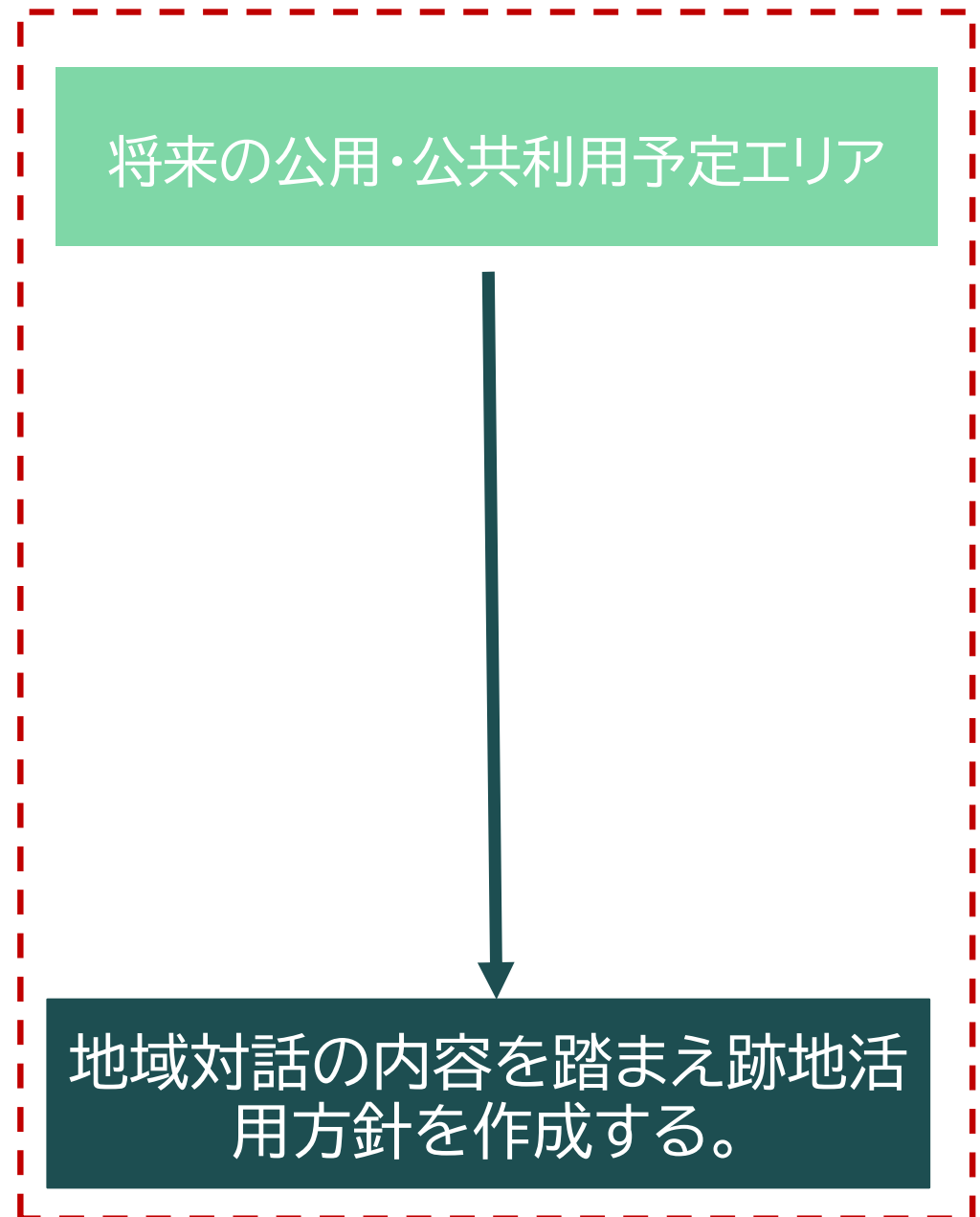
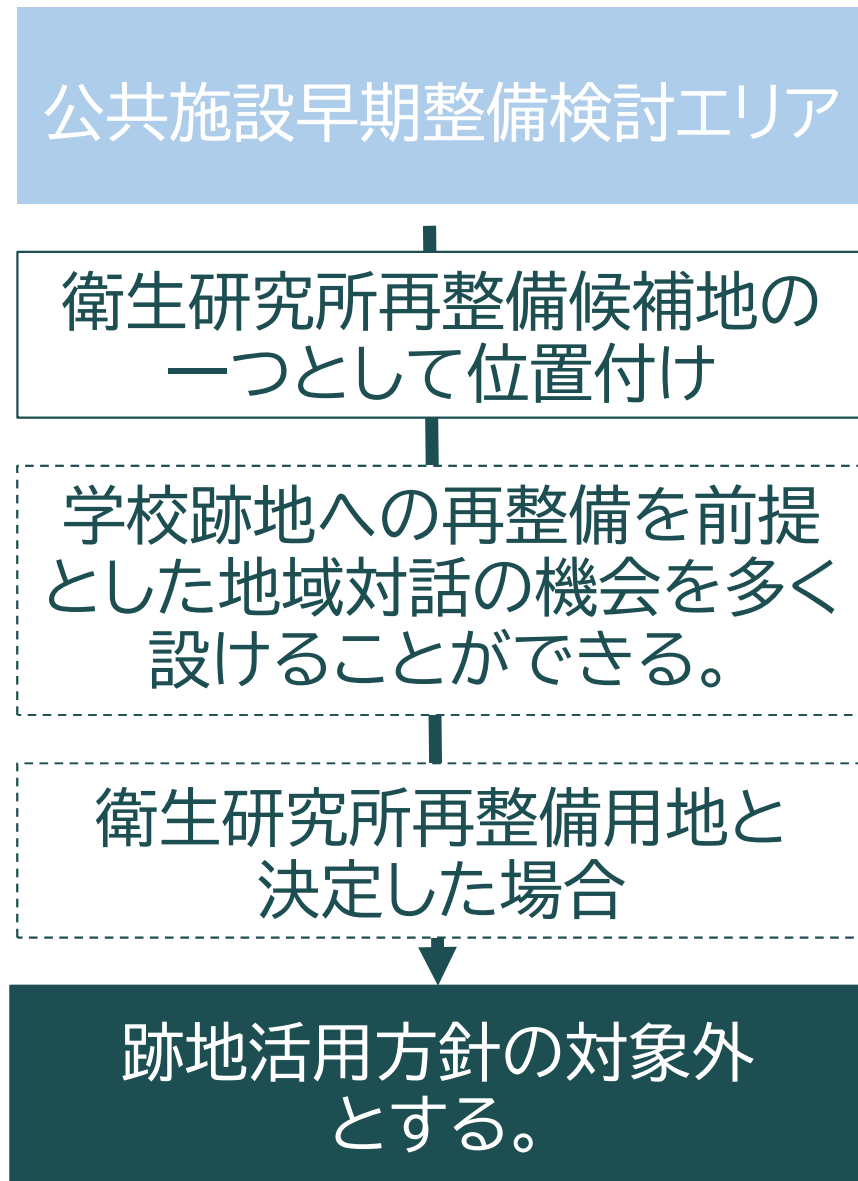


【活用方針の対象】
将来の公用・公共利用予定エリア
公共施設早期整備検討エリア



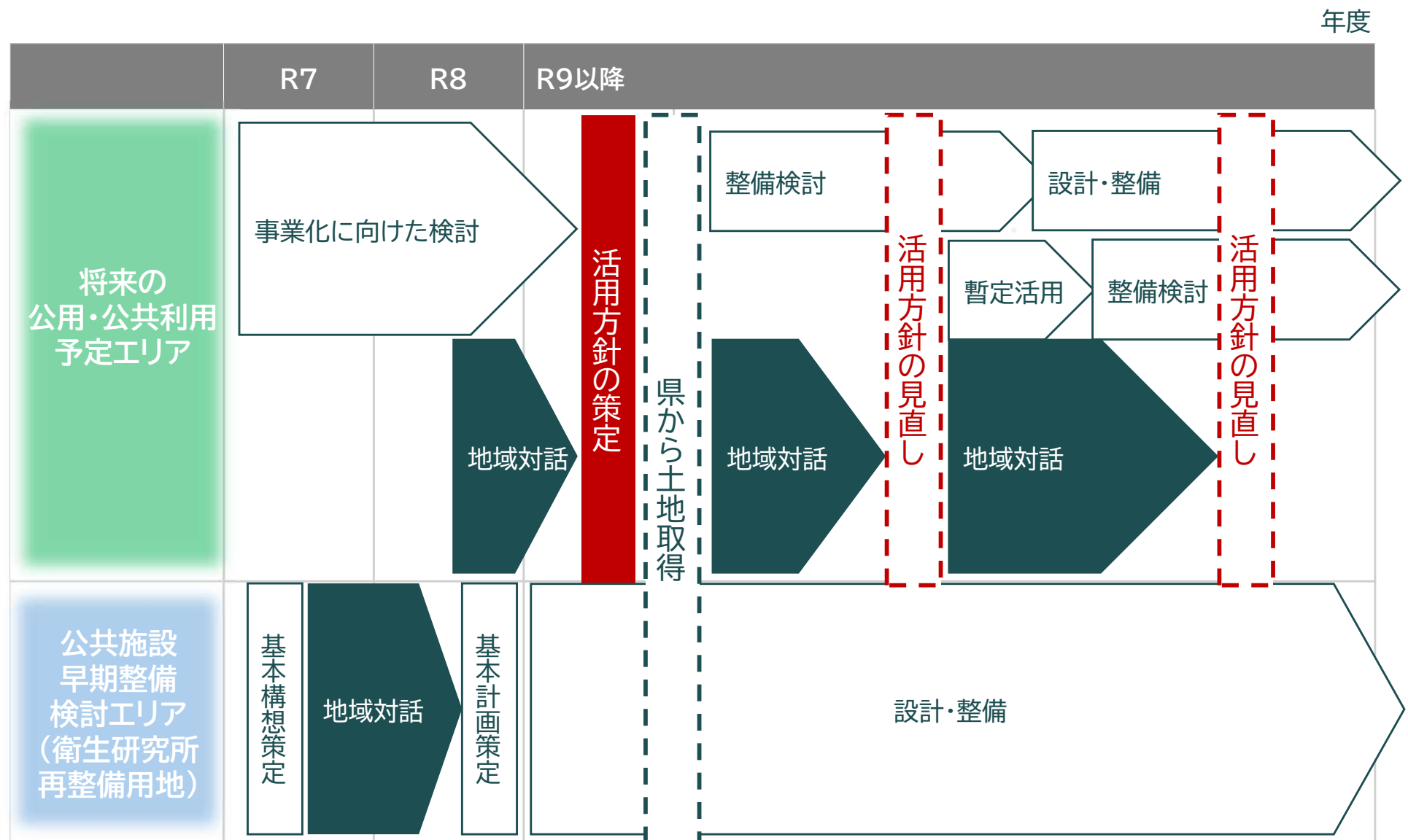
【活用方針の対象】
将来の公用・公共利用予定エリア

3 跡地活用方針の策定について



4 衛生研究所整備候補地から整備用地として決定した場合の進め方(イメージ)

- ▶ これまでは、跡地全体について活用方針を策定する予定であったが、衛生研究所再整備用地として決定した場合は「将来の公用・公共利用予定エリア」を対象に活用方針を策定する。



○開催日 : 令和7年5月15日

○開催場所 : 第1 特別会議室

○案件名 : 旧相模原総合高等学校跡地の活用について

○担当課 : 財政局 財政部 アセットマネジメント推進課、
教育局 教育環境部 学校給食課、
健康福祉局 保健衛生部 衛生研究所

○出席者 ■ : 出席 □ : 欠席 (代) : 代理出席

(庁議構成員)

■市長公室長 ■総務局長 ■財政局長 ■政策部長 ■シビックプライド担当部長
■財政部長 ■緑区副区長 ■中央区副区長 ■南区副区長 ■政策課長
■総務法制課長 ■財政課長

(担当課)

■財政部長 ■財政課長 ■アセットマネジメント推進課長
■学校給食課長 ■健康福祉総務課長 ■衛生研究所長

(1) 主な意見等

○(市長公室長)衛生研究所再整備について、この場所を候補地として整備するのか、それとも整備しないのか。

→(衛生研究所長)現在は検討する候補地の1つであり、他の候補地も含めて検討していく。

→(市長公室長)調整会議の議論の中で「今年度中に候補地が定まる見込みである」とアセットマネジメント推進課長が発言しているが、そのような理解でいいか。

→(健康福祉総務課長)今年度中に整備用地を決定する考えである。

→(市長公室長)地域へ説明した後に候補地を決めていくということだが、他の候補地でも地域説明は実施するのか。

→(健康福祉総務課長)実施については、現在、調整中である。

→(衛生研究所長)中央区については、市役所本庁舎周辺の在り方検討の進捗状況によるものと考えるが、現在の進捗状況から説明は難しいと考える。

→(市長公室長)実施しないのであれば、候補地にならないのではないか。

→(健康福祉総務課長)衛生研究所再整備基本構想の策定検討を進めていた中で、候補地を1つに定めることに対して意見があったため、現在は3か所としている。

→(市長公室長)候補地が3か所ある中で、地域説明は1か所だけではないか。

→(健康福祉総務課長)最終的な整備用地の決め方については、今後、検討していく。また、他の候補地への地域説明についても関係機関と相談させていただく。

→(財政局長)他の候補地はどこであったか。

→(健康福祉総務課長)市体育館跡地と本庁倉庫敷地である。

→(財政局長)地域説明を実施しなければ、整備用地を決定するための理由が説明できないのではないか。地域説明を実施した中で、結果としてどのようなことになるかわかならうが、先程の説明では、実施しないように聞こえてしまう。実施時期や実施方法を具体的に示せない部分はあるかもしれないが、各候補地への地域説明を前提としないと、このままでは、整備用地を判断する材料が不十分であると考える。

- (中央区副区長)衛生研究所再整備基本構想の庁議資料において候補地の提示があり、この資料が公表された際、地域としては突然感があるため、地域説明は必要であると考え。
- (健康福祉総務課長)今後、相談させていただく。各候補地の状況を問われる可能性があるため、説明は必要であると考え。
- (市長公室長)「今年度中に候補地が定まる見込みである」とアセットマネジメント推進課長が発言している部分について、整備用地が決定しているように捉えられてしまうのでないか。
- (アセットマネジメント推進課長)衛生研究所再整備基本構想の庁議資料において、令和7年度に整地用地を決定と示されているため、その内容を踏襲し発言させていただいたものである。
- (総務局長)市体育館跡地と本庁倉庫敷地の地域説明は、中央地区を対象としたものか。
- (衛生研究所長)そのとおりである。
- (市長公室長)旧相模原総合高等学校跡地の活用について、未利用資産活用・調整会議で検討しているとのことだが、敷地全体の考え方を今後どのようにしていくのか。
- (アセットマネジメント推進課長)引き続き、未利用資産活用・調整会議で検討を進めていく。
- (市長公室長)活用希望があったものから決定していくということか。
- (アセットマネジメント推進課長)現時点ではそのとおりである。
- (市長公室長)学校跡地の活用計画は、どこが策定していくのか。
- (アセットマネジメント推進課長)将来の公用・公共利用予定エリアについては、地域と対話を重ねながら、未利用資産活用・調整会議の中で方向性をまとめ、当課で跡地活用方針を作成していく考えである。また、活用希望があった所属と個別調整を行いながら検討を進めていく。
- (市長公室長)個別調整を行いながら、設置場所を決めていくということか。
- (アセットマネジメント推進課長)そのとおりである。
- (財政局長)活用希望があったものから順次整備すると、地域から疑問を持たれるのではない。また、地域の意見をどのように反映していくのか。今後の整備にも影響するものだと考える。衛生研究所再整備を先行して進めていく中で、「将来の公用・公共利用予定エリア」については、改めて地域説明を実施した方が良く考える。また、活用計画については、誰かがどこかで示さなければならないものと考え。そうしなければ、地域の理解が得られないのではない。公共施設等の建築年数や利用頻度などを考慮し、一度整理が必要である。もし、衛生研究所再整備がこの場所に決定した場合でも、同様の話になりかねないため、「将来の公用・公共利用予定エリア」については、このような方針で進めていくという青写真を描く必要がある。
- (市長公室長)跡地活用方針は、アセットマネジメント推進課で作成するのか。
- (アセットマネジメント推進課長)そのとおりである。未利用資産活用・調整会議で検討を進めながら、当課で作成する。
- (市長公室長)どのように作成していくのか。
- (アセットマネジメント推進課)活用希望があったものの検討熟度が高まり方向性をまとめた後、地域と対話を重ね、作成する考えである。
- (市長公室長)今回の学校跡地の活用は、淵野辺周辺まちづくりの土地利用計画のイメージと同様であると考え。大規模な空間地が生じ敷地内にどのような施設を導入していくのかを議論してきたものと一緒である。今後、用地を取得する中で土地の利用計画を問われた際に、個別調整を行いながら整備を進めていくと説明するのか。
- (アセットマネジメント推進課長)県からの取得条件として、10年間は公用・公共として使用しなければならない中で、最終的に売却するという可能性もあるかもしれないが、現時点では暫定も含め、敷地全体を活用するとは言い切れないため、まずは10年間の方針を示す必要があると考え。

- (市長公室長)仮に、公共施設早期整備検討エリアを衛生研究所の整備用地として決定するとした場合に、跡地全体の活用方針が今のままでは通らないと考える。
- (財政部長)将来の公用・公共活用予定エリアの活用方針を現時点で示すのは難しいと考える。
- (市長公室長)いつ示すのか。
- (財政部長)未利用資産活用・調整会議はそうした議論を重ねるためにあるものと承知している。
- (市長公室長)北部学校給食センターに係る検討について会議に諮る度に、市長からは跡地全体の活用について意見が出され、また、未利用資産活用・調整会議で調整するとの説明が続いていた。
- (財政局長)土地はいつ頃の取得を予定しているのか。
- (財政部長)令和9年度以降に取得する予定である。
- (財政局長)まずは、それまでの間に道筋を立てれば良いのではないかと。現時点では市の需要も把握できておらず、地域との対話もこれから予定されているため、描きようがないと考える。ただし、将来の公用・公共利用予定エリアを手つかずのまま今までできているのであれば、目標座標を定め、担当する所属は別として、例えば、取得するまでに地域と対話を重ね、市の需要も調査し、このような活用計画を策定しますといった方針を打ち出さなければならぬのではないかと考える。
- (アセットマネジメント推進課長)現在のスケジュールは、土地取得前までに活用方針を策定する予定であるが、現時点で将来の公用・公共利用予定エリアの明確なものを地域に示すことはできない。
- (財政局長)説明資料5ページでは「令和9年度以降」となっており、いつ示されるかが不透明である。土地取得前の策定を考えているのであれば、例えば、「活用方針については、地域との対話を重ね、土地取得前に策定していく」など、そのような内容を説明資料に追記しても良いと考える。
- (市長公室長)学校給食センターの整備が進められている中で、衛生研究所再整備の候補地の1つになったことについて、どのような議論を行ってきたのか。
- (学校給食課長)衛生研究所の現有地を見ても、学校の隣に設置されており、給食室も学校内にある。新たに整備される衛生研究所は、より高度に安全管理がなされる施設と伺っているため、隣接することについて、学校給食センター側として特段の意見はない。
- (市長公室長)令和8年度の供用開始を目指し整備が進められている中で、衛生研究所再整備の整備用地となった場合、学校給食センターの進捗に影響がでないか懸念している。学校給食センター自体の整備が止まることは避けたい。今年度に整備用地を決定し発表することで、地域からの反発や学校給食センター自体も反対だったとの意見も出かねない。
- (学校給食課長)学校給食センターについては、開発手続きも含めて自治会等へ説明を行っている。衛生研究所については、地域と対話を重ねながら、意見を踏まえつつ決めていくと伺っている。今後の地域の反応次第かと考える。
- (健康福祉総務課長)7月以降に地域説明を実施したいと考えている。その中で、地域の反応を伺っていききたい。
- (市長公室長)学校跡地以外の選択肢もあるということか。
- (健康福祉総務課)地域の状況によっては考えられる。
- (総務局長)将来の公用・公共利用予定エリアについて、既に地域から意見は出ているのか。
- (アセットマネジメント推進課長)敷地全体に対しての意見ではあるが、「歩道を設けてほしい」「こどもセンターの駐車場を増やしてほしい」といった個別の意見は出ている。
- (シビックプライド担当部長)将来の公用・公共利用予定エリアについて、未利用資産活用・調整会議で検討していくということであって、新たに会議体を設置する考えはないという認識で良いか。
- (アセットマネジメント推進課長)そのとおりである。

- (シビックプライド担当部長)未利用資産活用・調整会議で検討し、庁議に諮っていくのか。
- (アセットマネジメント推進課長)衛生研究所のように事業自体は所管課で進めていただき、場所については、未利用資産活用・調整会議で調整を図っていくものであると考える。
- (市長公室長)今回の審議事項の意思決定が遅れた場合、衛生研究所再整備に支障は生じるか。
- (衛生研究所長)6月定例会議の部会で、衛生研究所再整備基本構想の策定について説明する予定である。
- (市長公室長)どの資料を用いた説明を想定しているのか。
- (健康福祉総務課長)決定会議に諮った基本構想の資料を基に説明する。
- (市長公室長)今回の案件については、戦略会議へ諮りたいと考えるが、衛生研究所の資料に影響はないという認識で良いか。
- (健康福祉総務課)あくまでも基本構想の策定に関するものであり、整備用地を決定しているわけではないため、影響はないと考える。
- (市長公室長)学校跡地の活用について、今後の方向性や進め方を戦略会議へ諮っていきたい。方向性の中の1つとして、衛生研究所再整備の候補地であることを示していきたい。
- (財政課長)案件名や審議事項を変更してもいいのか。
- (市長公室長)案件名については、「旧相模原総合高等学校跡地活用方針の策定について」といった形にしていいただき、跡地活用方針の策定にあたってという趣旨で、広い意味での内容に修正していただきたい。また、説明資料5ページの表題も合わせて修正していただきたい。なお、活用希望があがっているのであれば、参考資料として添付していただきたい。

(2) 結 果

- 原案を一部修正し、上部会議に付議する。